

プリンセス・クルーズ 2016年インターナショナルクルーズのパンフレット発表



プリンセス・クルーズは2016年インターナショナルクルーズのパンフレットを発表しました。

プリンセス・クルーズの2016年インターナショナルクルーズパンフレットは、旅行会社店頭にて配布しています。またプリンセス・クルーズ日本語ホームページ(下記URL)から、ダウンロード(PDF)やデジタルパンフレットを閲覧できます。同ホームページより、パンフレットの送付を依頼することも可能です。

<http://www.princesscruises.jp/brochure-request-pdf/>

A4版、全70頁、オールカラーのパンフレットには、2016年4月から2017年5月までのインターナショナルクルーズのうち、特に日本のお客様に人気のコースやお勧めのコースとそのクルーズ代金が掲載されています。あわせてプリンセス・クルーズの誇る船内施設やサービス、バラエティ豊かなダイニング、新たに導入されるサービスやエンターテイメントプログラムなど充実したクルーズライフを写真とともに紹介しています。

掲載されているクルーズは、アラスカを始め、地中海・エーゲ海、北欧、英国などヨーロッパのほか、パナマ運河や南米、南太平洋・オセアニア、アジアなど世界350の港を訪れる多彩なコースです。日本語ホームページでは、パンフレット掲載コース以外にもプリンセス・クルーズが運航する全てのインターナショナルクルーズを検索することができます。



PRINCESS CRUISES

2016年シーズンにおいて、プリンセス・クルーズでは、日本人のお客様向けに、日本人に特に人気の高いクルーズに、新たな国際ホスト・プログラムを導入します。これは、日本語スタッフが乗船し、日本語の船内新聞や日本語メニュー、日本語ガイドつきショア・エクスカージョンなど、充実した日本語サービスを提供するプログラムで、日本人のお客様に、より快適なクルーズを提供します。アラスカでのクラウン・プリンセス、地中海、エーゲ海とアドリア海でのロイヤル・プリンセス、スカンジナビア/ロシアでのリーガル・プリンセスの3隻にこのプログラムが導入されます。

プリンセス・クルーズの詳細については、日本語ホームページ (<http://www.princesscruises.jp/>)をご覧ください。また、国際ホスト・プログラムに関しては、下記をご覧ください。
<http://www.princesscruises.jp/cruise-life/amenity/>

2016年の国際クルーズのハイライト

アラスカ

アラスカクルーズ乗船客数No.1を誇るプリンセス・クルーズでは、新プログラム「[ノース・トゥ・アラスカ!](#)」と題して、船上で地元の料理を味わったり、暮らしや文化に触れるイベントが多数用意されています。

イート・ライク・ア・ローカル:

「アラスカシーフードマーケティング協会」と提携し、シェフが忠実に現地の味を再現します。キングクラブやキングサーモンなどを使ったアラスカ料理をダイニングで提供します。

ラーン・フロム・ザ・ローカルズ:

木こりや漁師など地元の人々から話を聞いたり、お子様向けの「砂金探し」等、アラスカについて学べる体験型のアクティビティがあります。

セレブレート・ライク・ア・ローカル:

ゴールドラッシュの全盛期に思いを馳せ、ブリキの縦笛の講座や伝統舞踊のパフォーマンス、白夜を祝う船上パーティなどを用意しています。

シアトル発着のインサイド・パッセージ8日間([クラウン・プリンセス](#))では、安心の日本語サービスをご提供します。

また、アラスカクルーズの前後に、内陸まで足を伸ばし、プリンセス・クルーズのロッジに宿泊し、デナリ国立公園の観光など、アラスカの魅力をたっぷり満喫できるランドツアーもあります。

ヨーロッパ

・2014年に新造された[リーガル・プリンセス](#)が、コペンハーゲンを基点にバルト海を12日間航海します。このクルーズは、前述の国際ホスト・プログラム(新日本語サービス)が導入され、充実した日本語サービスを提供するクルーズです。

・[ロイヤル・プリンセス](#)が、2013年の就航以来、地中海に戻ってきます。バルセロナや、チビタベッキア(ローマ)から、魅力的な旅程のクルーズに出港し、日本語サービスも提供する8日から29日間の多彩なクルーズです。

・サウサンプトン発で英国の島々を周遊する13日間([カリビアン・プリンセス](#))のクルーズでは、スコットランドのエディンバラ城を訪ねたり、アイルランドを訪れた後、フランスにも立ち寄ります。8月には、スコットランドのエディンバラ城で行われる、スコットランド軍楽隊によるパレード「ミリタリー・タトゥー」を見学するコースもあります。

・[パシフィック・プリンセス](#)の13日間のクルーズでは(2016年11月9日～11月21日)、美しいベニスの港を出港した後、クロアチア、ギリシャ、トルコを訪れ、再びベニスに戻るクルーズです。

アジア・オセアニア

・2016年10月9日発の[ダイヤモンド・プリンセス](#)は、日本発着を終えて横浜を出港後、大阪、釜山、上海、香港に寄港し、ベトナム、タイなどアジアの人気寄港地を経て、シンガポールに到着する18日間のクルーズです。

・[シー・プリンセス](#)の2016年2月28日シドニー発着の43日間のクルーズでは、クルーズ中にインドネシア周辺で皆既日食を観測する予定です。シンガポール、香港や釜山を経て、日本の4つの港(舞鶴、金沢、青森、横浜)に寄港します。



PRINCESS CRUISES

北米・南米

・リーガル・プリンセスが、ニューヨーク発着の8日間に戻ってきます。ニューヨークを土曜日に出発し、ボストン、ハリファックスなどに寄港し、翌週の土曜日にニューヨークに戻る、紅葉に彩られたカナダ・ニューイングランドを訪れる人気のクルーズです。また、11日間のカリビアン・プリンセスのニューヨーク発ケベック・シティ着、ケベック・シティ発ニューヨーク着の3つのクルーズは、ボストン、ハリファックスに寄港し、秋の美しい景色を満喫いただけます。

・リーガル・プリンセスの東カリブ海8日間のクルーズは、セント・トーマス島などに寄港し、フォート・ローダゲールを日曜日に出発して日曜日に戻ります。西カリブ海を巡る8日間のクルーズでは、バハマにあるプリンセスのプライベートビーチ、プリンセス・ケイズに寄港します。

*クルーズの日程は、変更になる場合もあります。

プリンセス・クルーズについて

クルーズ業界で最もよく知られる名前の一つであるプリンセス・クルーズは、現在 18 隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテイメント、アメニティの豊富な選択肢を、上質のサービスとともに提供しています。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間170万人のゲストを世界中の目的地に向けて、4 泊から 111 泊のクルーズを運航しています。プリンセス・クルーズは、[カーニバル・コーポレーション & plc](#) (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社です。

プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 第1回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で、観光関連産業部門の部門賞を、2015年8月に受賞
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ 2014」を、2015年6月に受賞
- 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」において、プリンセス・クルーズの日本発着クルーズが「グランプリ」受賞
- 日本の歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー2014」において、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第1位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第1位」に選出
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード2014」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」受賞
- 一般社団法人日本旅行業協会主催「JATA ツーリズム大賞 2013」において、「運輸部門優秀賞」受賞
- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」主催「トラベル・ウィークリー・マゼラン・アワード 2013」において、客船『ロイヤル・プリンセス』（新造船『リーガル・プリンセス』の同型姉妹船）が「ベスト・ラージ・クルーズ・シップ金賞」受賞
- 米国トラベル誌大手「コンデナスト・トラベラー」主催「コンデナスト・トラベラー読者投票 2013」において、日本発着クルーズに就航している『ダイヤモンド・プリンセス』を含む客船 6 隻が「ベスト・クルーズ・シップ・イン・ザ・ワールド Top 20 ラージ・シップ」に選出
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ 2012」を、2013年6月に受賞

株式会社 カーニバル・ジャパン
(プリンセス・クルーズ ジャパンオフィス)
<http://www.princesscruises.jp/>
TEL: 03-3573-3610